

# ALSI、データベースファイルなど幅広いアプリケーションの ファイル自動暗号化を実現する「InterSafe ILP Ver. 6.8」を 9月24日より販売開始

アルプス システム インテグレーション株式会社(本社:東京都大田区、代表取締役社長:永倉仁哉、以下 ALSI[アルシー])は、情報漏洩対策シリーズ「InterSafe ILP(インターセーフ アイエルピー)」をバージョンアップし、2019年9月24日より販売開始することを発表いたします。

## ■製品概要

|                   |  |
|-------------------|--|
| シリーズ名             | 情報漏洩対策シリーズ「InterSafe ILP Ver. 6.8」   |
| バージョンアップ<br>対象製品  | <ul style="list-style-type: none"> <li>－ ファイル自動暗号化ソフト「InterSafe FileProtection」</li> <li>－ デバイス制御ソフト「InterSafe DeviceControl」</li> <li>－ 持ち出し／持ち込みの申請・承認ソフト「InterSafe WorkFlow」</li> <li>－ セキュリティ USB メモリ作成ソフト「InterSafe SecureDevice Ultimate」</li> </ul> |
| 主な追加機能／<br>強化ポイント | <ul style="list-style-type: none"> <li>① CAD や Windows ストアプリ、およびデータベースのファイルなど、多様なアプリケーションのファイルにて暗号化が可能</li> <li>② 暗号化ファイルに対する Windows Search によるコンテンツ検索が可能</li> <li>③ Windows アップデートによるトラブルを回避する管理機能を実装</li> </ul>   |
| 対応 OS             | Windows Server 2008 R2 Standard / Enterprise SP1<br>Windows Server 2012 Standard / R2 Standard / Datacenter Edition<br>Windows Server 2016 Standard / Datacenter Edition<br>Windows Server 2019 Standard / Datacenter Edition                              |
| 提供開始日             | 2019年9月24日   |
| ターゲット             | 企業、教育機関、官公庁・自治体など  |
| 製品情報 URL          | <a href="https://www.alsi.co.jp/security/ilp/">https://www.alsi.co.jp/security/ilp/</a>  |

## ■バージョンアップの背景

ファイル自動暗号化は、情報漏洩の確実な対策として利用されています。企業内で利用されるアプリケーションのデータファイルを暗号化することで、万が一外部へデータファイルが漏洩しても暗号化により利用できないため、情報を守ることができます。また、「個人データの漏えい等の事案が発生した場合等の対応について」(平成29年個人情報保護委員会告示第1号)では、高度な暗号化が施されたファイルの漏洩は実質的に情報が漏洩していないと判断され、報告の義務を要しないとされています。

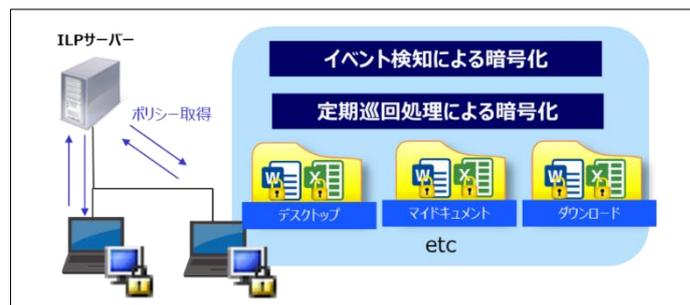
一方で、企業などで利用されるアプリケーションの種類は増え続け、暗号化対象のファイルの種類も増加しています。ファイルの自動暗号化は、利用されるすべてのファイルを暗号化することが理想であり、ファイル自動暗号化システムには、幅広いアプリケーションに対応した暗号化が望まれています。しかし、CAD や Windows ストアプリ、および読み書きの頻度が高いデータベースのファイルなどに対応することは困難でした。

この度、これらの問題に対応した「InterSafe ILP Ver. 6.8」の提供を開始いたします。

## ■バージョンアップによる機能強化ポイント

### ①自動暗号化フォルダーの標準実装により、対応アプリケーションを拡大

自動暗号化フォルダーのイベント検知機能と定期巡回機能により、今まで対応困難であったアプリケーションのデータファイルでも自動暗号化が可能となりました。これにより、広範囲で確実な暗号化がなされ、情報セキュリティレベルの向上を実現します。



▲InterSafe ILP 利用イメージ

### ②暗号化ファイルの全文検索が可能

特定のファイルを探す際にファイル名が不明だったり、もしくは、特定の内容に関連したファイルをすべて探したりする際には、各ファイルの内容まで参照する全文検索が用いられます。一般的に、暗号化されたファイルの内容を復号化して検索することはできません。しかしながら、本バージョンでは Windows にて通常の全文検索を実施するときと同じ手順、UI にて暗号化されたファイルの全文検索が可能となり、ファイルを探す際の効率が大きく改善されました。

### ③Windows アップデートによるトラブルを回避する管理機能

一般的にファイル暗号化ソリューションでは、Windows アップデートのタイミングでトラブルが発生することがごく稀にあります。こうした問題発生のかきかけとなる Windows アップデートの実施を管理する機能をいち早く搭載し、トラブルの回避が可能となりました。管理者は、問題発生の可能性がある場合に、Windows アップデートの自動実施を止めるなどコントロールすることで問題を未然に防ぐことができます。

※掲載されている会社名及び商品名は各社の商標または登録商標です。

※価格はお客様の利用環境および導入プランにより変動いたします。

#### 【製品に関するお問い合わせ・取材受付先】

アルプス システム インテグレーション株式会社 管理部 経営企画課 広報担当 黒澤 宏子

TEL: 03-5499-8043 / FAX: 03-3726-7050 / E-mail: hiroko.kurosawa@alsi.co.jp

〒145-0067 東京都大田区雪谷大塚町 1-7 URL: <https://www.alsi.co.jp/>